

パミス微粉末

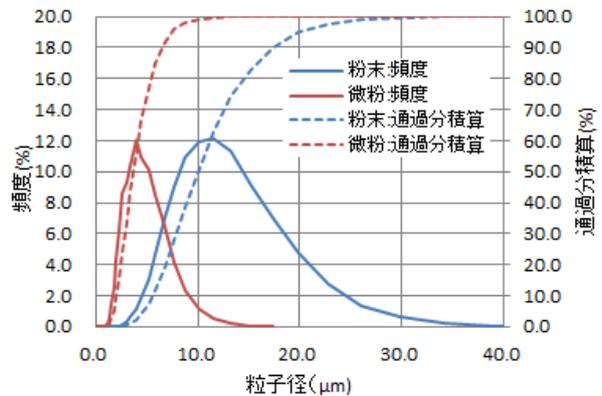
技術資料

パミス微粉末は、南九州に分布するシラス台地の二次シラス層より採掘された熔結凝灰岩から不純物を除去し、乾燥・整粒した灰白色の天然多孔質です。アルミノシリケートを主成分とした火山ガラスで化学的に安定しており、様々な用途にご利用いただけます。

外観写真



粒度分布 (粉末:100 μm以下、微粉:10 μm以下)



項目	試験結果	単位	試験方法	
粒子径 (上グラフ参照)	<100	μm	レーザ回折・分散式粒度分布測定装置	
乾燥減量	0.5	%	JIS K1474.6.8	
強熱残分	95.8	%	JIS K1474.6.9	
pH	9.0	—	JIS K1474.6.10	
細孔容積	0.60	mL/g	水銀圧入法	
	0.008	mL/g	窒素吸着法	
比表面積	4	m ² /g	窒素吸着法	
充てん密度	かため かさ比重	0.95	g/mL	JIS K1474
	ゆるめ かさ比重	0.50	g/mL	自社法
熱伝導率	0.109	W/(m・K)	ISO 2007-6 (交流定常法)	
	0.104	W/(m・K)	JIS R2616準拠 (熱線法)	
吸油量	70	ml/100g	JIS K5101.13.1 (精製あまに油法)	
耐火度	SK8	—	JIS R2204	
白色度	W(Lab)	74.2	—	JIS P8138 幾何条件b (0° : 45° c)
	W(L*ab)	78.1		